

大島紬の小物が人気

奄美の里 リボン、ネクタイ型販売

大島紬を使った手作りアクセサリー「ブートニエール」が人気を集めている。鹿児島県の伝統工芸品である大島紬を気軽に身に着けてほしいと、鹿児島市の奄美の里（南栄1丁目）が昨年11月にリボン型とネクタイ型の販売を開始。1個2200円と手頃な価格もあって、多い月は100



大島紬を使ったリボン型とネクタイ型のアクセサリー「ブートニエール」
＝鹿児島市南栄1丁目の奄美の里

個以上が売れた。「ブートニエール」はフランス語でボタンの穴を意味する。「男性がスーツに付けておしゃれを楽しんでほしい」と藤絹織物（鹿児島市）の藤陽一社長が

大島紬を生かした小物を発案した。リボン型は縦1・5センチ、幅2センチ、ネクタイ型は縦4センチ、幅1・5センチほど。シルク100%の生地をスワッフが型紙を使って切り、まつり縫いなど一針ずつ丹念に仕上げた。

男性の購入者を想定していたが、「バッグや帽子に付けたらかわいい」「ホワイトデーのお返しにしたい」と

購入者の約8割が女性だという。企画室の藤原郁代室長は「高額なイメージの大島紬が手軽に楽しめるのも人気の理由では。シヨップは、全て『一点物』なので自分に似合う一品を探してほしい」と話した。

藤絹織物専用通販サイトでも販売中。問い合わせは奄美の里1099（268）0331。（畦地文雄）